

About SENDAI

東北の中心都市、仙台は自然環境と利便性に恵まれたとても暮らしやすい街です。

夏の暑さは穏やかで、東北でありながら冬の降雪量が少ないことが特徴です。

年間を通じて様々なイベントが行われ、たくさんの人で賑わい、春は「仙台・青葉まつり」、夏は「仙台七夕まつり」、秋は「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」、冬の「光のページェント」には県内外から多くの観光客が訪れます。また、1月には各地域の神社で「どんと祭」という正月送りの行事が行われています。

買い物や生活に必要な施設がすべて揃っており、JR、地下鉄、バスなどの交通網が充実しているので、安心して生活をしながら、仕事に打ち込むことができます。



Being the Pioneer of the Medical Front for TOHOKU

臨床研修医 募集案内



ACCESS MAP

仙石線

「JR仙台駅」から石巻方面下り電車に乗車(約16分)し、「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分

宮城交通バス

「仙台港フェリーターミナル行(福田町夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

仙台市営バス

「高砂市営住宅西行」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

「6号公園住宅前行」に乗車し、「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、徒歩約3分

車

仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

お問合せ

卒後研修支援センター

TEL: 022-259-1221 (内線1478)

E-mail: kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp

FB: @TMPU.CPME



<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident>

東北医科薬科大学病院
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY HOSPITAL



ともに学び、そして東北地方の医療を支えていきましょう！

当院が大学病院としてスタートを切ってから10年目となります。本年4月には本学を卒業した四期生が医師として羽ばたき、一期生、二期生、三期生とともに地域医療に貢献しています。大学病院となってから病床数が466床から600床へと増床されるとともに、標榜診療科も21科から33科、最新式の医療機器も増設され、80名ほどであった医師数も300名を超えるようになりました。大学病院としての高度な医療提供を行う土台が確固たるものになっています。数名しかいなかった臨床研修医も本年度は31名、専攻医は66名に増えています。病院内には診療実習を行う医学部学生も含め若い活力がみなぎっています。

本学医学部は東北地方の医療を支えるという使命を持って設置されたことから、卒業生が地域医療で戦力となることを主眼とした教育が行われています。その実習の場でもある本院は高度な医療を提供するとともに、一般的な疾患を数多く診療していることが特徴です。従って、当院での研修は幅広い症例が経験できるとともに、約150名の指導医がいることから、偏りのない指導を受けることができます。若い医師が数多く在籍していることから、働きやすく学びやすい環境です。当院で一緒に働き、東北地方の医療を支えていきませんか。

東北医科薬科大学病院 病院長

佐藤 賢一 Dr. Kennichi Satoh

Message from

思いやりの心を持った医師をめざそう

2016年に医学部が開設されてから10年目となりました。本学を卒業した一期生、二期生が専攻医として母校の大学病院に戻ってきており、彼らを中心とした若いスタッフの多い、活気に溢れた病院となっています。研修医の皆さんには比較的年が近く相談しやすい上級医に恵まれた環境のもと、診療チームの一員として臨床能力を磨きつつ、医療人としての基盤を臨床研修の2年間で築き上げて頂きたいと思います。

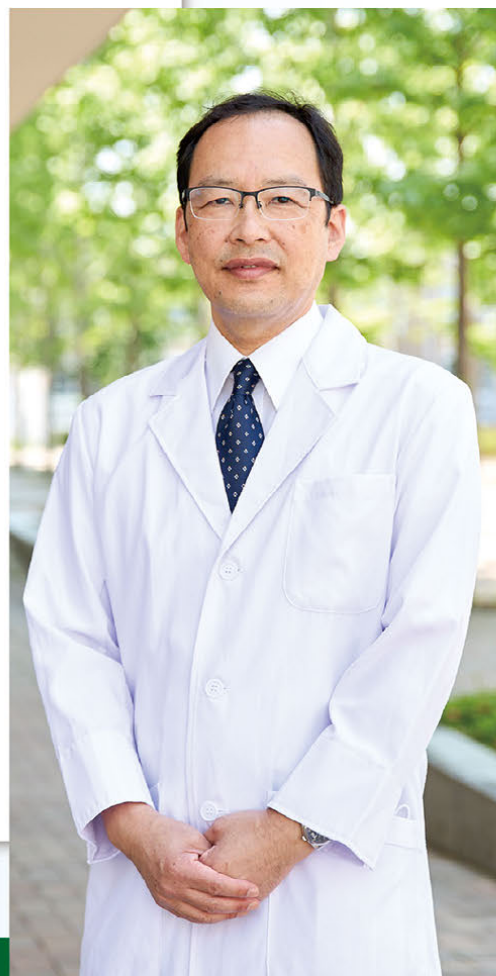
当院は「真心を尽くし思いやりの心で務める」を理念として掲げています。常に冷静さを保ち患者さんのことを第一に考え、患者さんに寄り添い、最善を尽くす“patient first”の精神を持ち続けることが、医師として最も重要で忘れてはいけないことであり、大切な心構えであると考えています。

当院は新専門医制度下で、基幹病院として現在15の専門研修プログラムを持ち、臨床研修後の専門研修、さらにはその後のサブスペシャリティ領域へとシームレスにキャリアパスを形成していくことができます。また、令和5年度より大学院も設置され学位取得も可能となりました。専門医や学位を取得後、そのままスタッフとして当院でご活躍頂くこともできます。卒後研修支援センターでは研修医の皆さんが最適な道に進めるよう支援していきたくと思っています。

東北医科薬科大学は【地域医療に貢献できる医師の養成】を使命として誕生した大学であり、臨床研修に関しても、その使命は貫かれております。東北の地域医療に貢献する意欲に満ちた、多くの方々の応募をお待ちしております。

卒後研修支援センター長

Dr. Morihisa Hirota 廣田 衛久



臨床力と総合力で地域医療を支える医師に

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国で37年ぶりの医学部が新設されたことで、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。医学部附属病院となったことで、診療科の新設、従来の診療科へのスタッフ増員がありました。2019年には大学病院棟が完成し、よりハード面の充実が図られました。病床数はICU 14床を含め150床で、既存病院と合わせた病床数は600床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うことになりました。これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。



About TMPUH

卒後研修支援センターについて

東北医科薬科大学病院卒後研修支援センターは、2016年10月に設立されました。当センターは、卒前教育との連携を図りながら、教員や病院所属医師の“卒後教育”（臨床研修・専門研修）を支援し充実させること、および本学卒業生の東北地方定着に向けた支援を目的としています。

- 研修医の募集および任用に関すること
- 卒後臨床研修カリキュラムの企画立案および実施に関すること
- 研修医の評価に係る業務に関すること
- 研修関連医療機関等との連絡・調整に関すること
- 学部教育との連携に関すること
- 専門医等の育成に関すること
- 地域医師等の生涯教育の支援に関すること
- その他卒後臨床研修に関する事項

東北医科薬科大学病院だからできること

地域型 総合病院

大学病院+横断的な医療

地域を支える
医師を育成

先端的医療機器と
充実した教育リソース

様々な進路、
広がる可能性



特色あるプログラム

総合病院として内科系・外科系診療科、小児科、産婦人科、精神科と必修科がそろっているだけでなく、マイナー科も充実しています。
内科研修では、当院の10の内科系診療科または協力病院で研修を行います。

●救急研修

当院は2次救急医療機関ですが、時に3次救急相当の重症患者も積極的に診察しており、walk inから救急搬送、common diseaseからCPAまで診察しており、研修医の実力を養う絶好の場です。
救急研修では、担当した症例や判断に迷いやすいケースについては指導医がフィードバックを行い、確実に1次・2次救急への対応能力を身に付けることに重点を置いています。
救急部門の協力病院には、1次・2次救急を担う病院だけでなく、高度救命救急センターも含まれており、より高度な救急医療を経験することも可能です。研修先は宮城県内の病院の他、岩手県や栃木県など県外の病院もあります。



●自由選択

自由選択では当院の30以上の診療科(部)および協力病院の中から、診療科を選択してスケジュールを組むことができます。

当院診療科から選択

希望により研修協力病院での研修可。

- | | | | |
|--------------|-----------|--------|--------------|
| ●循環器内科 | ●小児科 | ●形成外科 | ●救急・集中治療科 |
| ●呼吸器内科 | ●消化器外科 | ●皮膚科 | ●感染症内科 |
| ●消化器内科 | ●肝胆膵外科 | ●眼科 | ●病理診断科 |
| ●糖尿病代謝・内分泌内科 | ●呼吸器外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●がん治療支援(緩和)科 |
| ●腎臓・高血圧内科 | ●乳腺・内分泌外科 | ●産婦人科 | ●リハビリテーション科 |
| ●血液・リウマチ科 | ●心臓血管外科 | ●泌尿器科 | ●検査部 |
| ●総合診療科 | ●脳神経外科 | ●放射線科 | |
| ●脳神経内科 | ●整形外科 | ●麻酔科 | |
| ●腫瘍内科 | | | |
| ●精神科 | | | |

※消化器外科、肝胆膵外科の研修は
合同で行います



●総合診療科研修

東北医科薬科大学は、東北地方の地域医療を支える医師を育成することを使命として誕生しました。そのため、研修プログラムでも、当院総合診療科または東北医科薬科大学若林病院の総合診療科で約2ヶ月間研修し、地域医療を支えられるよう専門疾患に偏らない、複数の疾患、複雑な背景を抱えた患者さんの診療について学びます。
また、どちらの総合診療科も入院病床を有し、外来での診療だけでなく、入院精査や治療、退院調整についても学ぶことができます。



●地域医療研修

地域医療、一般外来研修では訪問診療や病棟診療、初診患者さんなどの診療について研修します。離島への訪問診療、介護老人福祉施設への訪問診療を行っている病院もあり、地域に即した医療や退院後の生活について理解することができます。
また、当院では約2ヶ月間同じ協力病院で研修することを基本とし、同じ病院で研修し地域の環境を理解することで地域における医療、福祉の役割をより深く学ぶことも研修目標のひとつとしています。

涌谷町町民医療福祉センター (涌谷町国民健康保険病院)

地域医療 一般外来



保健・医療・福祉・介護を一体的に提供している病院のため、それぞれの連携を経験できます。また、外来や訪問診療の研修だけでなく、地域保健活動等についても学ぶことができます。

研修先の 具体例

女川町地域医療センター

地域医療 一般外来



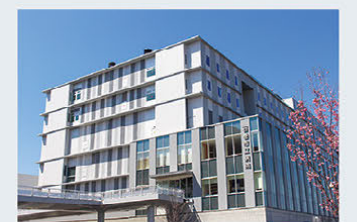
介護老人保健施設や病児病後児保育室などが併設されています。研修では外来診療や訪問診療、離島への巡回診療だけでなく、訪問看護や通所リハビリなども経験できます。



離島への巡回診療

石巻市立病院

地域医療 一般外来



石巻地域医療教育サテライトセンターが院内に設置され、地域包括医療を実践的に学ぶ場と位置づけられており、また、石巻市立病院での外来や往診の研修をはじめ、石巻市雄勝診療所での研修や、地域包括ケアに関連する施設での業務など医療以外の地域事業についても学ぶことができます。

宮城県
MIYAGI

東北医科薬科大学病院

その他の 地域医療 研修先

- 塩竈市立病院 地域医療 一般外来
- 南三陸病院 地域医療 一般外来
- 古川星陵病院 地域医療 一般外来

- 登米市立米谷病院 地域医療 一般外来
- 登米市立豊里病院 地域医療 一般外来

研修スケジュール例

内科、自由選択の診療科は、各研修医の希望をもとに相談、調整しながら決めていきます。将来志望する科を中心に研修したい、色々な診療科で研修したいなど診療科の選び方は様々です。

■ 必修科目 ■ 自由選択

プログラムA（標準コース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	東北医科薬科大学病院											
	総合診療科	糖尿病代謝・内分泌内科	血液・リウマチ科	腫瘍内科	感染症内科	救急・集中治療科						
2年目	東北医科薬科大学病院			協力病院		東北医科薬科大学病院						
	腎臓・高血圧内科	放射線科	地域医療・一般外来	呼吸器外科	精神科	小児科	産婦人科	脳神経内科				

研修医レポート

2024年度採用

小熊 美沙
神奈川県出身
東北医科薬科大学卒業

当院は幅広い症例を経験できるうえ、指導医や専攻医の先生が多く、いつでも相談しやすい環境が整っています。日々の業務の中で丁寧なフィードバックを受けながら、臨床判断力や実践的スキルを着実に身につけることができます。また、カンファレンスや抄読会も充実しており、日々の診療だけでなく体系的な学びも得られます。オンオフがはっきりしており、リフレッシュの時間も確保できるため、研修に集中できる点も大きな魅力です。

プログラムB（地域たすき掛けコース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	東北医科薬科大学病院					協力病院						
	総合診療科	腫瘍内科	脳神経内科	糖尿病代謝・内分泌内科	循環器内科	救急・集中治療科						
2年目	東北医科薬科大学病院			協力病院		東北医科薬科大学病院						
	麻酔科	病理診断科	がん治療支援(緩和科)	地域医療・一般外来	心臓血管外科	精神科	小児科	産婦人科	消化器外科/肝胆膵外科			

研修医レポート

2023年度採用

神奈川県出身
東北医科薬科大学卒業

当院は大学病院ではありますが、専門的な疾患からcommon diseaseと幅広い疾患を学ぶことができます。その中で私は市中病院で9ヶ月研修を行うたすき掛けでの研修を希望しました。最初の3ヶ月を当院の総合診療科と耳鼻咽喉科で過ごし、その後仙台徳洲会病院で過ごし1年目の研修を終えました。どちらの病院でも指導医の先生に様々なことを指導していただき大変勉強になりました。協力病院での研修は新しい視野を持つきっかけにもなります。大変なことも多いですが、多くの経験をしてみたいと考える人こそ、たすき掛けでの研修を考えてみるといいかもしれません。

プログラムC（小児産婦人科コース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	東北医科薬科大学病院											
	総合診療科	呼吸器内科	消化器内科	腎臓・高血圧内科	小児科	救急・集中治療科						
2年目	東北医科薬科大学病院			協力病院		東北医科薬科大学病院						
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	地域医療・一般外来	小児科	消化器外科/肝胆膵外科	精神科	産婦人科	感染症内科				

大学病院棟・医療設備について



大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含む手術室9室のほか、高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となります。また、2019年4月にメディカルトレーニングセンターが開所し、より安全な医療を提供するための技術研修が可能となりました。



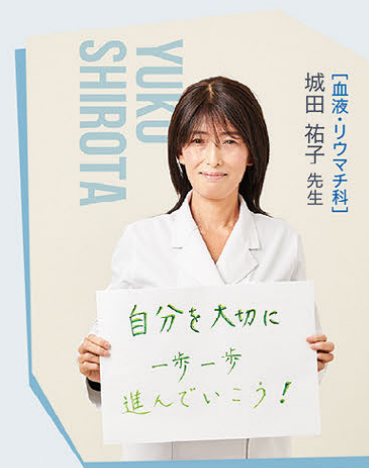
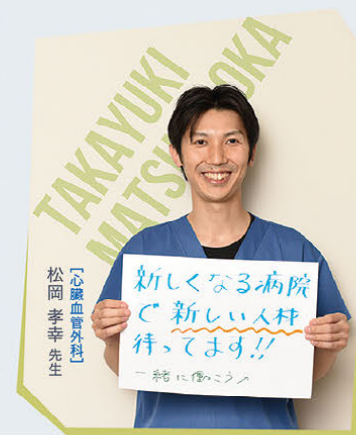
ハイブリッド手術室

手術室に血管造影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D-CT撮影も行うことができる手術室です。従来の手術室では対応の難しかった、より高度で低侵襲な治療が可能になりました。



放射線治療装置(リニアック)

リニアックに専用のCT装置を合体させたCT-リニアックという高精度放射線治療装置を導入しました。放射線治療を行う際、ポジションの位置合わせをした後で、位置合わせが正しくできているかどうか、CT撮影をして確認できます。



血管撮影装置(パイプレン型)

パイプレンとは、X線管球と検出器が2セット搭載されているシステムのことであり、1度の造影剤注入で2方向を同時に撮影することができます。これにより造影剤減量と被ばく低減が可能になり患者負担の軽減につながります。



メディカルトレーニングセンター(MTC)

医学部の新設に伴い設立したメディカルトレーニングセンター(MTC)では様々なモデル、シミュレーターを用いた技能習得、救急・急変対応、技術トレーニングが可能です。医学部生のほか、新規入職の看護師、メディカルスタッフ、研修医がともに学ぶ場となっています。



研修医たちの ある一日



8:30 — 9:00

午前

12:00

午後

17:15

業務開始

カンファレンス

病棟回診

発熱、食欲不振など患者さんの症状は様々です。指導医と共に病棟回診を行い、検査・診断・治療方針について討議します。必要に応じて他科へのコンサルテーションを行い、効果的に治療を進めます。

ランチタイム

症例検討会

総合診療科には、多彩な背景、主訴の患者さんが入院しています。研修医は、指導医と共に病院の多くの科や多職種と連携を取り、適切な退院後の生活につながるようサポートします。

業務終了

研修医のある一週間

【総合診療科】

月曜日 カンファレンス、病棟回診、外来見学

火曜日 カンファレンス、病棟回診、外来見学

水曜日 カンファレンス、病棟回診、
症例検討会、抄読会

木曜日 カンファレンス、病棟回診、
多職種カンファレンス

金曜日 カンファレンス、病棟回診

土曜日 救急センター担当業務

日曜日 OFF

★週1回程度、研修医勉強会

★月2〜5回程度、救急センター担当業務

大学病院らしい様々な診療科・症例を経験でき、大学病院でありがたcommon diseaseもたくさん経験できることから当院を選びました。

飯野 さくら

熱心かつ優しい指導医の先生方が多く、大学病院でありながら、専門研修への選択肢も多いため、研修先に選びました。

西山 渉

大学病院ですがcommon diseaseも多く経験できます！

本田 旬太郎

私は東北医科薬科大学の卒業生で、在学中に実習などで当院の先生方の優い姿勢を見て頂いて、ここで学び成長したいと思い選びました。

鹿野 流太

東北医科薬科大学病院のメリットは指導熱心な先生が多く、希望すれば大体のことはやらせていただけることです。

羽生 亘太

大学病院としての高度・専門医療の提供や、充実した教育体制を備えながらも、もと市中病院としての特性をいかした研修に魅かれました。

岩橋 涼雅

志望科が未定のため、多くの診療科が揃っている当院の研修環境に魅力を感じました。

佐井 友美

診療科や教育体制が充実しており、研修期間に身に付けるべき手技等を段階的に経験できることが魅力を感じました。

齋藤 紘帆

学生時代の臨床実習で研修医の先生方を見た時、専門性が高い先生方から指導を受けることができ、教育体制が充実していると感じて選びました。

渡邊 舞

私は当院の研修医の裁量が大きい点に惹かれ当院を選びました。上級医の先生方は面倒見が良く、充実した研修医生活を送れます！

堀川 将生

私が当院を選んだ理由は、最先端の技術と実践的な経験を身に付け、将来的に地域医療の発展に貢献したいと思ったからです。

金子 周次郎

豊富な診療科が揃う環境と、学生時代に会った先生方やコメディカルの方々の温かい雰囲気に魅力を感じました。

川原田 駿

市中病院と大学病院の「いいとこどり」ができるのが魅力的だと感じて、研修先として選びました。

善積 亮太

当院は教育熱心で手厚い指導をしてくれる上級医の先生方と幅広い症例を経験できる充実した環境が整っています。積極的な行動力と実力ある研修医が多いです。

岩下 亜美

学生生活でお世話になった先生方の下で研修生活を送る安心感に魅力を感じ、研修先に選びました。

脇谷 実生

幅広い診療科の先生方による適切な指導で、知識とスキルだけでなく真のこもった医療が学べます！

小野 安里紗

私は東北医科薬科大学の卒業生で、学生時代から慣れ親しんだ病院のため、安心して研修することができると考え選びました。手技も幅広く経験でき、良い環境だと思います。

後藤 桜子

熱心に指導して下さる先生方が多く、向上心を保ちながら成長できると考えました。

佐藤 理瑚

私は自分の卒業大学の附属病院であり、また大学病院と市中病院の両側面を持っている病院という事で、当院で研修しようと決めました。

高野 桃寧

先生方の数が多く手厚い指導を受けられます。また、大学病院としては給与がよいので安心して仕事に集中することができます。

早崎 寿起

研修医 メッセージ

職場環境

■専攻医・研修医室

専攻医・研修医専用です。

個々のデスクがあり、電子カルテも設置されています。



■借上住宅

1K・ウォークインクローゼット付、トイレバス別で快適。セキュリティも万全なので安心です。



■カフェテリア



■ぶくぶく保育園

夜間保育もっており、子育てをしながら安心して仕事を続けることができます。
※法人教職員利用可



■ローソン



研修医の一年間

4月



入職式 [1年目研修医]
オリエンテーション [1年目研修医]
レジデントデイ

5月

救急センター担当業務開始 [1年目研修医]
CPC
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

6月

病院長との懇談会
レジデントデイ
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会



7月

臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

8月

CPC



9月

10月

病院長との懇談会
レジデントデイ
卒後研修支援センター懇親会



11月

CPC

12月

レジデントデイ

1月

基本的臨床能力評価試験

2月

CPC

3月

レジデントデイ
学術集会
修了証書授与式 [2年目研修医]



東北医科薬科大学病院

〒983-8512
宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号

【病院長】佐藤 賢一

【病床数】一般病棟554床 精神病棟46床 計600床

【前身】1946年 5月 宮城第一病院
1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称
2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更
2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更

職員構成

2025年4月1日 現在

職 種	合計職員
医 師	207名
専攻医	66名
臨床研修医	31名
歯科医師	4名
薬剤師	44名
医療技術職	203名
看護職	633名
福祉職	13名
事務員	101名
技能職	28名
合 計	1,330名

臨床研修医募集要項 抜粋

研修期間	4月1日から2年間
身 分	嘱託職員
給与・賞与	1年目ー基本給 330,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季) 2年目ー基本給 340,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季)
各種手当	通勤・賃貸・時間外等
勤務時間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 主たる勤務時間 日勤 8:30~17:15、夜勤 16:00~翌日9:00 就業規則に基づき実施
休暇・休日	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次休暇 法定に基づき付与
年金・保険	私学共済、雇用保険、労災保険加入
福利厚生	健康診断実施、ワクチン接種、学会参加への支援制度、医師賠償責任保険(病院負担にて加入)など

